

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

バイオマス
プラスチック

カーボン
ニュートラル

用途

食品包材／医療器具／化粧品容器／自動車部材 etc.

課題

- 回収・リサイクルが難しい製品だが、環境対応を進めたい
- 化石資源由来のPEを使用しているが、化石資源への依存度を低減したい

ソリューション

2つの原料ルートでのバイオPEの提供を目指す

- バイオナフサより得られるエチレンを用いたPEの提供
- 国内森林資源の油化によるバイオナフサ製造（三菱ケミカル社事業化構想中）

バイオナフサ
投入



バイオナフサ



バイオエチレン



バイオポリエチレン
（日本ポリエチレン）

バイオマスの
油化による
SAF・バイオ
ナフサ製造



熱分解装置
（構想中）



ベネフィット

- 包装・容器、医療・衛生用品など、回収・リサイクルが一般的に困難であるものをはじめとした幅広い製品を、より持続可能なものへすることが可能。

お問い合わせ |  日本ポリエチレン株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用する製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。